



ふたがわ

第50号

編集・発行 豊橋市立二川小学校

(0532)41-0550

めざす子ども像

ふたがわのよい子

- やさしい子 (徳)
- 考える子 (知)
- たくましい子 (体)

六年生のみなさん

卒業おめでとう

校長 野口 正芳

この一年間、新たな気持ちで学習や運動等に取り組んできた子どもたち。スポーツフェスタやランニングフェスタでは、たくさんの友達と元気にいっぱい活動する姿が見られました。また、様々な行事につきまして、保護者の皆様をはじめ、PTAや地域の方々のご協力により盛大に行うことができたことから感謝申し上げます。

さて、三月は卒業の季節です。卒業生のみなさんへのメッセージとして、小学校を卒業しても、ずっと覚えていてほしいことを書きます。

それは、「命を大切にすること」です。言葉で言うのは簡単です。でも、日々の生活において「命を大切にすること」ためには、何をすればよいのでしょうか。私は、大切なことが三つあるのではと思っています。

まず、一つ目に大切なことは、「自分を信じて進む」ということです。

中学校に入學すると、友達との関わりの中で、時には人と自分を比べなければならぬこともあるでしょう。むしろ、中学校生活はその連続かもしれません。お互いの夢の実現に向けて話し合い、より高い目標に向けてチャレンジしていくこと、時にはライバルとして競争し合うことで、社会を生き抜く力がつきまします。それが、中学校ではとても大切なことです。でも、忘れないでください。みなさんは、一人一人が個性をもった人間であり、かけがえのない存在

です。

二つ目は「与えられた環境で咲く努力をする」ということです。

花は、それぞれ独自の 방법으로、自らの種を風や鳥の力を借りて遠くに飛ばしますが、ひとたび種が地面に落とされれば、そこから自分の意思で動くことはできません。そんな環境に置かれても、大地にしっかりと根を張り美しい花を咲かせる花があります。歩道に力強く咲くタンポポの花、みなさんもどこかで見たことがあるのではないのでしょうか。

みなさんが、中学校でさらに飛躍し、個性豊かな花を咲かせるために、授業や様々な活動を通して、しっかりと養分を吸収し、地中に根を張っていくことが大切です。落ち着いてひたむきに努力を続けば、必ず道が開けます。

最後に大切なことは「今という時間を大切に生きる」ということです。世界では、戦争や紛争、日本国内では自然災害が発生し、避難を余儀なくされた方々が、多数います。私たちが自然災害から学んだことは、いったい何だったのでしょうか。

毎日、学校で勉強したり、みんなでいっしょに運動場で遊んだり、家族と晩ご飯を食べながら会話をしたり……、そんな何気ない日々の生活の繰り返しですが、本当は「当たり前」のことでなく、奇跡にも近い「幸せ」だったということ。今という時間を大切にすること。野に咲く花々のように、その日を精一杯生きるということ。そのことを忘れないでほしいと思います。

結びに、本年度も皆様から温かいご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。

1年「いいかお」であふれた



生活科「秋を楽しむ天才になろう！」
秋、見つけたー！

小学校生活がスタートして、一年がたとうとしています。学年目標「いいかお」を合言葉に、いろいろなことに取り組んできました。漢字や計算などの学習だけでなく、学校生活のあらゆる場面であふれた「いいかお」が見られました。

生活科「秋を楽しむ天才になろう」では、ある子の「まだ暑いのに、どんぐりを見つけたよ！」の一言をきっかけにして、学習がスタートしました。運動場で秋見つけをすると、場所によつて秋がちがうかも？という疑問が生まれ、大岩神明宮での秋見つけにつながりました。自分で見つけた秋を追究していく段階では、図鑑を作ったり、おもちゃを作ったりと、各々の個性が輝いていました。

喜ぶ顔や悩む顔、考える顔など、いいかおが見られる度に、一年生はたくましく成長しました。二年生での活躍が楽しみです。

2年「チャレンジ」そして成長へ…



生活科「自分はっけん」
お家の方からの手紙に、感動！

仲間と協力して学級をまとめようとする姿、行事に楽しく取り組む姿、授業中では、問題に対して試行錯誤しながら話し合い解決する姿、失敗や不安を乗り越えてチャレンジすることで、経験を積み重ねたことで、こうした素晴らしい姿を見ることができたと思います。まさに、子どもたち一人一人のがんばりによる成長だと言えます。

生活科「自分はっけん」の学習では、これまでの自分を振り返り、成長してきた自分と、周りの人達の支えがあったことに気がつくしました。この学びが、これからの成長の糧になり、三年生でも活躍していくことを期待しています。

3年

かがやけー！

三年生の学年目標「かがやけー！」のように、子どもたちの輝く姿を学習や行事を通してたくさん見ることができた一年でした。

三年生から始まった理科や社会総合的な学習の時間では、かがやき隊ボランティアの方々のおかげで、たくさん校外学習にでかけることができました。その中で、学ぶことを楽しみ、新しいことを身につけた喜びいっぱい姿がありました。豊橋総合動植物公園へは、校外学習でウサギの幸せについて学んだだけでなく、飼育員さんの出前授業も受け、さまざまな面から動物の幸せについて考えました。三学期には、来年度からはじまるうさぎの飼育に向けて、四年生から飼育方法を教えてもらい、実際に四年生と一緒に飼育活動に張りきって参加しています。



「ウサギの幸せについて考えよう！」

飼育員さんから話を聞いたよ

4年

かへり組ぞう

『まずは自分を大切に。そして、学年のため、学級のため、友達のために行動できる人であってほしい』という願いを込めて、「すくらむ」という学年目標を掲げました。

二学期に実施したわくわく体験活動では、実験を通して微生物を見たり、各施設で働いているプロの方の話を聞いたりしました。また、公共の場でのマナーについて学級で話し合い、社会的な規範意識を身につけました。体験の中で、顕微鏡の操作が上手な子、天体に興味をもつ子、元氣よくあいさつができる子など、たくさんよい姿が見られました。

三学期の学習発表会ではグループ別の発表と、学年合唱に挑戦しました。伝えたいことを自分たちで考え、準備し、教師に頼ることなく、仲間と活動できました。



「防災ほくらのサバイバル術」グループ発表も合唱も大成功！

5年

二川小のウルトラマン

学年目標「ウルトラマン」超人・挑人・聴人」を掲げて一年間を過ごしてきた五年生。

学校行事では先輩の姿から学び、学年行事では仲間とともに学び合い、高め合いました。

二学期の野外教育活動では、さまざまな挑戦がありました。親元を離れての共同生活や食事づくり、自分たちで計画したキャンプファイヤーなど、多くの初めての体験がありました。うまくいかないこともありましたが、子どもたちは、友達の声に耳を傾け、解決しながら経験に変えてきました。

三学期には、六年生に代わり、学校行事の運営に携わり、最高学年となる準備をしました。すんで動く子どもの姿から、一年間の成長を感じました。

さて、四月からは、六年生となり、学校をリードしていきます。

二川小のウルトラマンとして、仲間たちとともに活躍することを期待しています。



二川小のウルトラマンたち

6年

翼

「二川の旧道は狭くて危ない！」。五年生で、福祉について学んだときに実感した思いです。

六年生では、この旧道で行われる二川本陣祭りに、鼓笛隊として参加しました。二川宿を知る多くの方から、旧道の大切さを聞ききました。今でも残る古民家や宿場町の名残、旧道の町並みや景観を守ろうとしている人々の思いに触れた活動を通して、子どもたちは、「旧道をよりよく残したい」という思いをもちました。

徒歩や自転車、旧道を通るのは、やはり怖いので、「スピードを落としてほしい」と呼びかけたという思いや、新しい道路ができてほしいという願いをもちました。また、木造の古民家を火災から守るために、募金を集めて消火器を配りたいと考えました。さまざまな学習を通して、二川校区に愛着をもった子どもたち。関わってくれたたくさんの方に感謝をし、中学校に羽ばたいていきます。



自信とやる気をもって中学へ羽ばたきます

すぎのこ

「やめだー」

ありがとうございます

今年度は十二月に「すぎのこ郵便局」行いました。お世話になっていた六年生や先生、仲よくしてくれたり助けてくれたりした友達に「ありがとう」をたくさん届けよう、と呼びかけました。事前に五枚分ずつ配った引換券やペットボトルキャップと交換ではがきを販売し、とてもたくさんの方が買いにきてくれました。また、たくさんさんの手紙がポストに投函され、喜びの声をあげながら、仕分けと配達をしました。すぎのこ学級に、「郵便局をがんばってね。」というはがきが届き、全校の「ありがとう」を感じながら活動しました。自分の仕事に取り組むことが「できた！」子どもたちでした。



はがきの販売が「できた！」よ

ありがとうございました

本年度も保護者の皆様、地域の方々に支えられて教育活動を進めてまいりました。ご協力に感謝申し上げます。